

小中一貫教育校の小・中の連携

Point 1 主任等の連携による「一つの学校の職員となる意識づくり」

2025年度 千歳小中学校 職場づくり 笑顔・夢・感動をうみだす

未来志向で自ら学び 仲間と共に志の実現を目指す 千歳っ子の育成
 チャレンジ・ウェルビーイング《小中一貫教育校の設置》

- I 教職員のつながり・協働 (チーム学校)
- ・学年の協働 学年間の協働
 - ・教科の協働 教科間の協働
 - ・幼小中での協働
 - ・他機関との協働 「かじか」SC、SSW、福祉、事業所等、警察等

- II 児童生徒の(児童生徒同士)つながり・協働 (笑顔輝く児童生徒)
- ・集団づくり(学年、期、全校)
 - ・授業づくり(授業改善)
 - ・児童生徒のつながり(児童生徒会活動)
 - ・学校行事(育成する資質・能力の明確化)

情報の共有
 指導の一貫性
 全員で行動
 働き方改革

チームワーク
 フットワーク
 ネットワーク

授業の中で
 行事の中で
 教職員の人材育成

- III 小中一貫教育校の設置
 2024.4 ~
- ・小中一貫教育の推進
 - ・9年間の系統性
 - ・異学年交流

子どもの学びの連続性

- IV 家庭・地域とのつながり・協働
- 「地域とともにある学校」
 - ・コミュニティ・スクール(地域との協働 運営協議会)
 - ・保護者との協働
 - ・地域活動等

キャリア教育 体験学習

スピード感をもって全教職員で
豊かで楽しい学校・学び・集団づくりを創造
 学び合う教師 切磋琢磨できる教職員集団
 働き方 チャレンジ(やってみる)する教師
 活気・笑顔のある教職員集団

令和6年4月 施設一体型「豊後大野市小中一貫教育校 千歳小中学校」開校

Point 2 効果的な異学年交流や小中の相互乗り入れ授業の実施



中学生が小学生の手を引いて「お見知り遠足」へ出発



小中交流の「芋の苗植え」



1年生～9年生までの児童生徒会活動「児童生徒総会」の様子

<異学年交流>

年間計画を作成し、主に中期(5～7年生)・後期(8・9年生)からそれぞれリーダーの学年を割り当て、**全教職員でねらいを把握**し、連携を図りながら進めている。



中学校理科教諭による小学部1年生「生活科」の特別授業



中学校英語教諭による小学部6年生「外国語」の授業

<小・中学校教員の相互乗り入れ授業>
小・中の教職員の垣根なく、1～9年生までを全教職員で指導するという共通理解が図られた授業実践が進んでいる。

小・中の主任や各種担当の連携により、小学部と中学部の情報交換や今後の方針などを話し合う機会が多いため、**お互いの考えを理解し合う**ことができている。また、**ベテランと経験年数の浅い教職員が組むことにより、人材育成の場にもなっている**。様々な行事や児童生徒の状況を全教職員で共有するため、**小・中の隔たりがなく、同じベクトルで9年間を見通した教育を行う**ことができている。